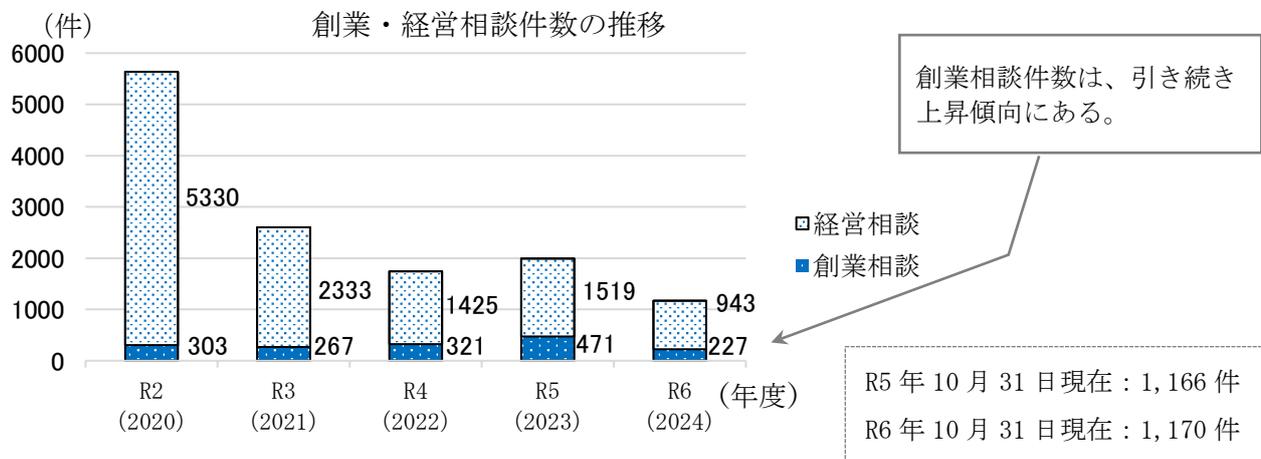


## 杉並区産業振興計画に基づく令和6年度の主な取組状況（令和6年10月31日時点）

## 取組項目1 中小企業に関する取組 中小企業の経営力強化と創業の促進

## (取組1) 創業・経営相談窓口の充実【重点】

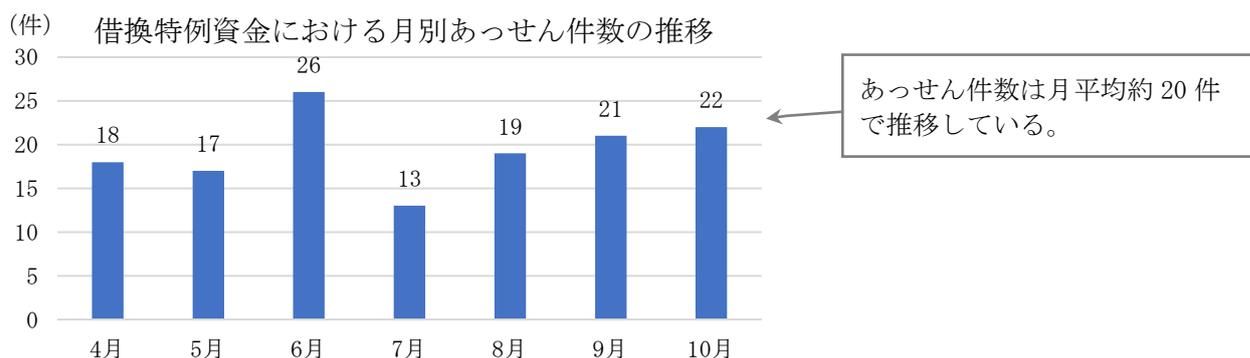
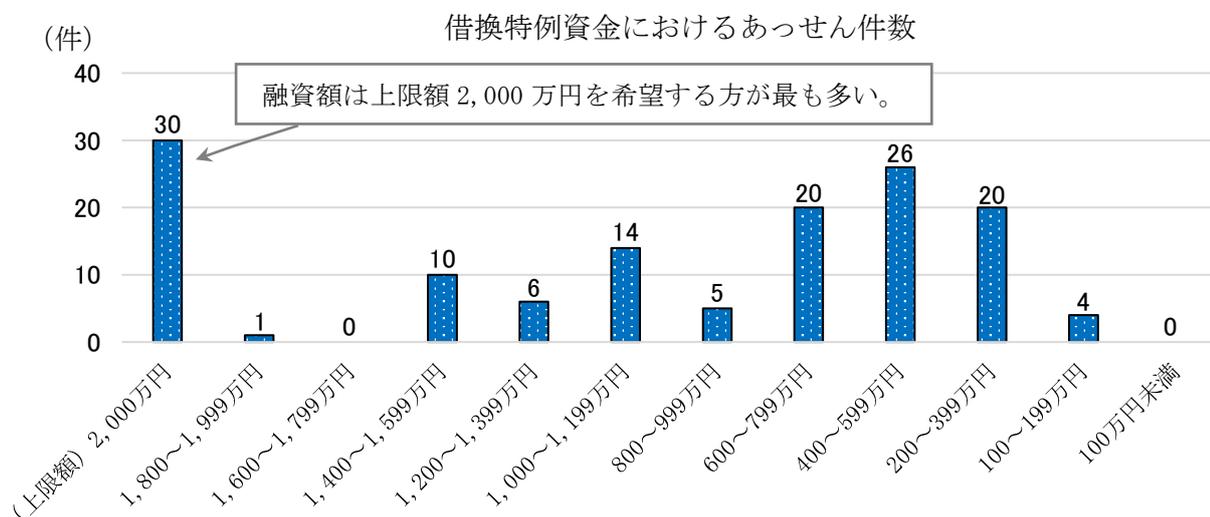
○創業・経営相談窓口の相談員は4人体制で実施しているが、令和6年4月1日から開始した借換特例資金により相談件数の増加が見込まれた4月～7月は、1人増員し5人体制で実施した。



## (取組2) 中小企業資金融資あっせん制度の充実

○令和2年3月から新型コロナウイルス感染症対策特例資金制度を、令和4年10月から原油価格・物価高騰等対策特例資金制度を設け中小事業者の資金繰りに関する緊急支援を行ってきたが、エネルギー価格や物価高騰等による影響が続いていることから、引き続き中小事業者の資金調達の充実と負担軽減を図るため、令和6年4月に借換特例資金制度を創設した。

[あっせん件数 令和6年4月～10月末現在：合計 136件]



### (取組3) 創業支援の拡充【重点】

○原則、地域の商店会への加盟を条件とする創業スタートアップ助成や創業セミナー等を実施し、区内の創業促進と商店街の活性化を図った。

#### <創業スタートアップ助成>

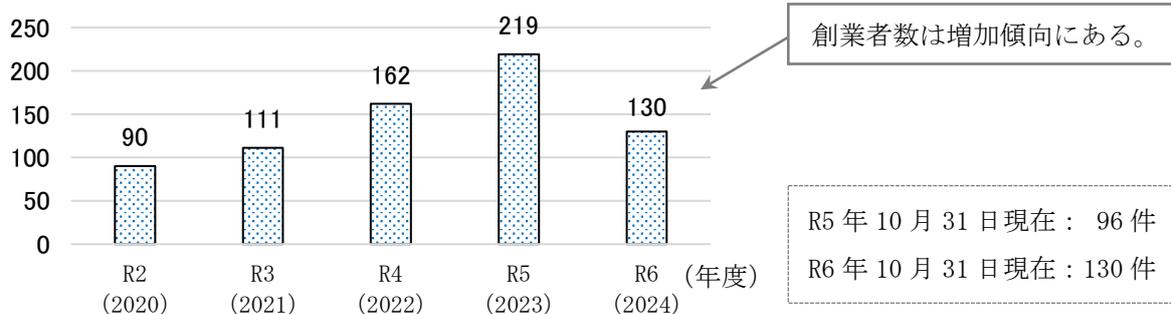
- ・事業所家賃助成（上限 30 万円、助成率 2/3）：31 件 8,574,000 円  
（R5 年 10 月 31 日現在：32 件 9,300,000 円）
- ・ホームページ等作成助成（上限 20 万円、助成率 2/3）：29 件 4,835,000 円  
（R5 年 10 月 31 日現在：35 件 6,339,000 円）
- ・商店会加盟数：17 件（R5 年 10 月 31 日現在：19 件）

#### <創業セミナー>

- ・女性のための創業セミナー（6 月毎週土曜日開催 全 4 回）  
参加者数 20 名（応募者数 30 名）
- ・女性と若者のための創業セミナー（10 月毎週土曜日開催 全 4 回）  
参加者数 20 名（応募者数 26 名）

<創業支援資金に係る信用保証料補助> 25 件（R5 年 10 月 31 日現在：28 件）

(件) 区の創業支援による創業者数の推移



## 取組項目 2 就労に関する取組 就労支援と多様な働き方の推進

(取組1) 伴走型の就労支援の充実【重点】

(取組2) 若者、女性、高齢者等の多様な働き手の支援の拡充【重点】

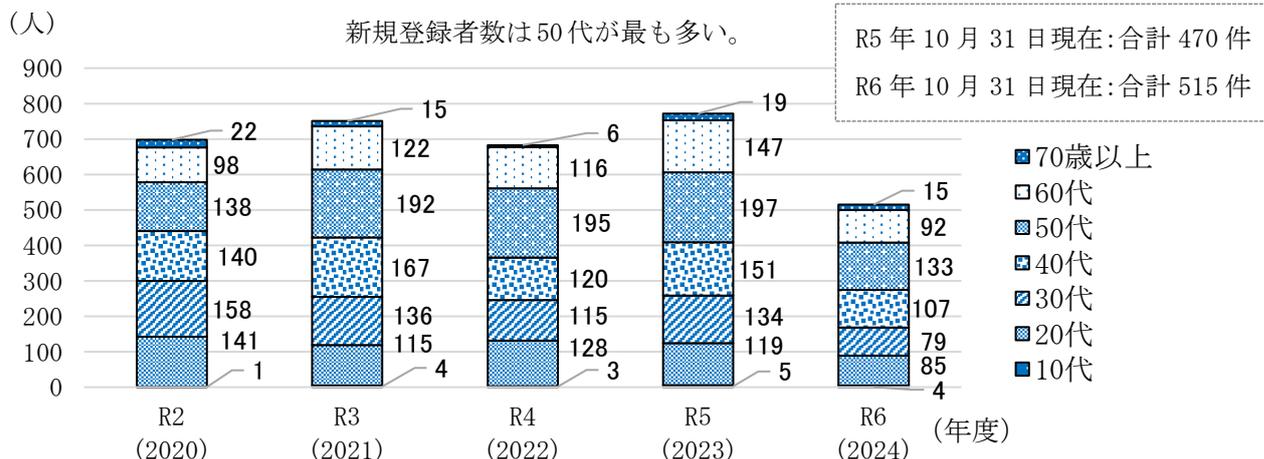
(取組3) 関係機関と連携した就労支援【重点】

(取組4) 就労準備訓練・社会適応力訓練の支援【重点】

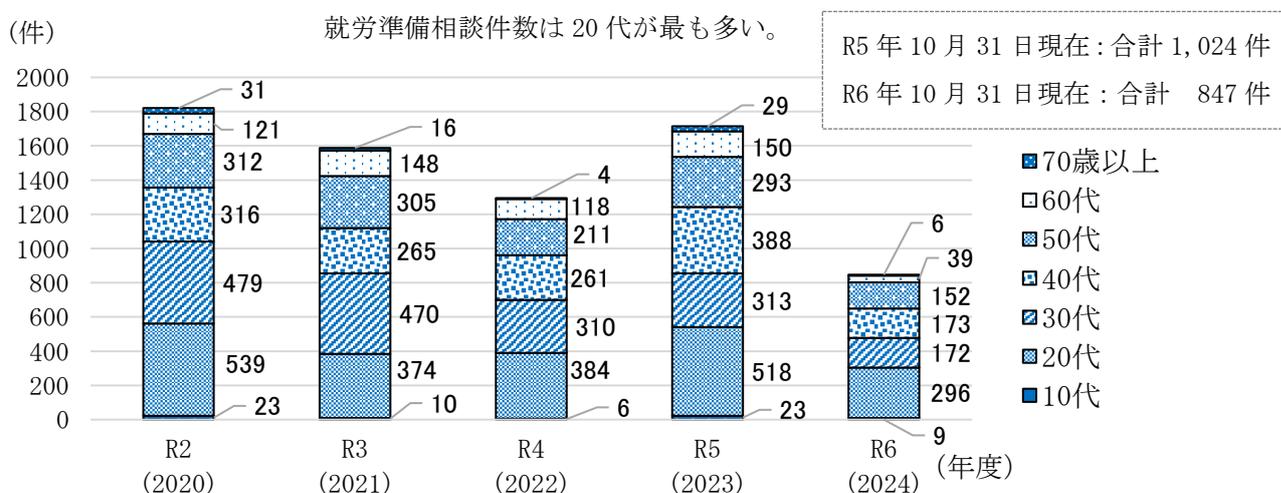
○就労支援センターにおいて、ハローワークや生活自立支援窓口、就労関係機関等との連携を図り、相談者に寄り添った伴走型の支援を実施した。

〈若者就労支援コーナー(すぎ JOB)〉

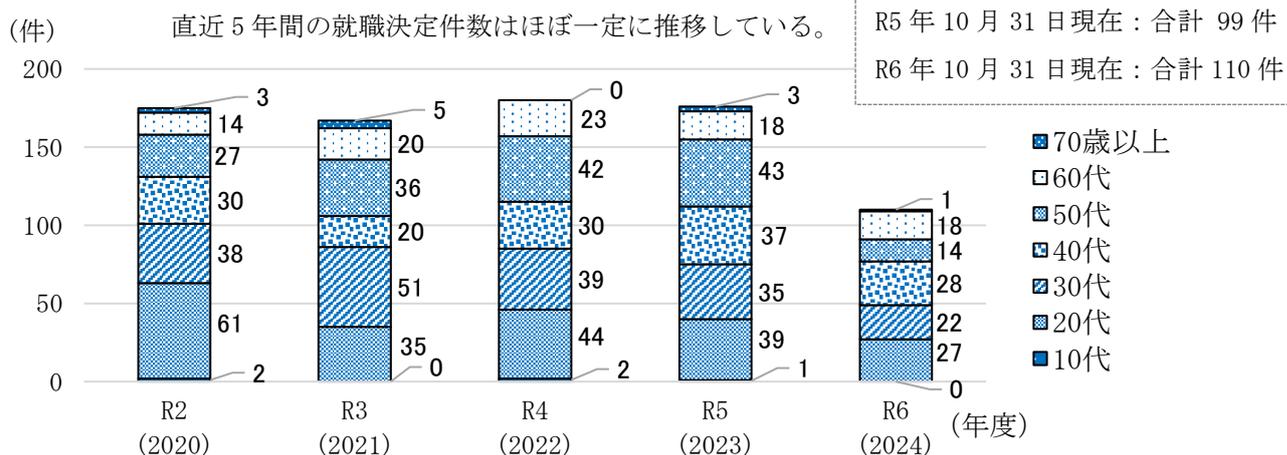
①新規登録者数



②就労準備相談件数



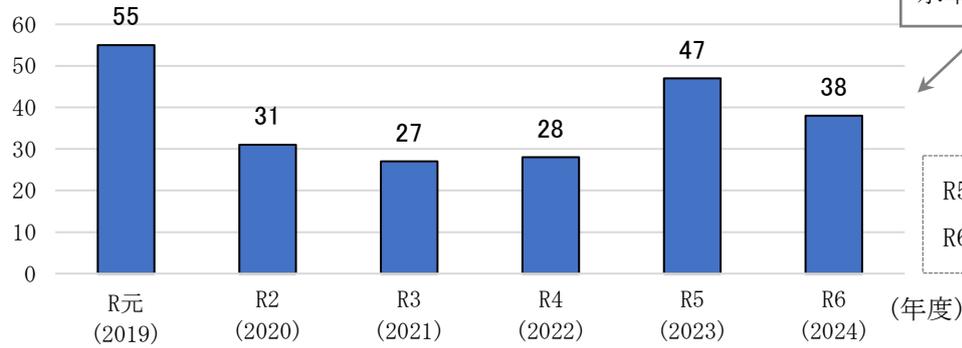
③就職決定件数



〈ハローワークコーナー〉 職業相談件数：4,463件（R5年10月31日現在：3,574件）  
 就職決定件数：244件（R5年10月31日現在：234件）

〈ジョブトレーニングコーナー（すぎトレ）〉

利用登録者数



利用登録者数はコロナ禍前の水準まで戻りつつある。

R5年10月31日現在：30件  
 R6年10月31日現在：38件

**(取組5) 区内企業のマッチングにつながる支援**

○中野区やハローワークとの連携による合同面接会等を実施した。

実施回数：28回 参加人数：延200名 採用人数：40名

(内訳) ・杉並区・中野区保育のおしごと就職相談・面接会

9/8開催：21事業者49名参加 1名採用

11/24開催：24事業者参加予定

・中野区・杉並区わかもの就職相談・面接会：年末年始に1回開催

・介護のおしごと就職相談・面接会

11/10開催：22事業者38名参加 ※採用者数は集計中

・障害福祉のおしごと就職相談・面接会

10/30開催：15事業者54名参加 6名採用

・ミニ面接会、ツアー面接会(事業所見学付きの面接会) [ハローワーク主催]

計26回開催 251事業者151名参加 39名採用

○区役所および就労支援センターにて就職相談・面接ブースを実施した。

7/24開催：8事業者9名参加 採用なし

11/7開催：8事業者16名参加 ※採用者数は集計中

次回1～2月頃開催予定

7/24開催 就職相談・面接ブース  
 「杉並区企業との交流&相談会」の様子



9/8開催 杉並区・中野区保育の  
 おしごと就職相談・面接会の様子



## 取組項目3 商店街に関する取組 地域に根ざした商店街の活性化

(取組1) 地域ににぎわいをもたらす商店街づくりの推進【重点】

(取組2) 地域団体等との連携による地域の活性化【重点】

○商店街が実施するイベント事業等への補助を行った。

### <新設>

#### ・商店街トライアル事業

コロナ禍や物価高騰により大きな影響を受けた商店街のにぎわいを取り戻すために、希望によりアドバイザー等を派遣し、商店街のイベント創設等の支援に取り組んだ。

イベント事業：補助上限額 50 万円、補助率 10/10

活性化事業：補助上限額 20 万円、補助率 10/10

個店連携事業：補助上限額 50 万円、補助率 10/10

#### ・女性活躍推進事業

商店街チャレンジ戦略支援事業のうち、女性のみで企画し実施する事業に対する補助を新設した。

補助率：11/12（都 7/12、区 1/3）補助上限額：58 万 3 千円

#### ・地域の観光需要対応支援事業

商店街が観光需要に対応した取組を行う場合に対する補助を新設した。

補助率：5/6（都 2/3、区 1/6）補助上限額：2,000 万円

※東京都が行う審査会により採択された事業に限る。

### <主な申請状況>

#### ・商店街チャレンジ戦略支援事業（イベント事業）補助：98 件

うち、組織活力向上支援事業：11 件、若手・女性支援事業：9 件、女性活躍推進事業：1 件、地域の観光需要対応支援事業：1 件

例：阿佐谷七夕まつり、高円寺びっくり大道芸、HONAN エイサー&ミュージックフェスなど

#### ・地域連携型商店街事業（イベント事業）補助：3 件（R5 年 10 月 31 日現在：2 件）

例：久我山ホテル祭りなど

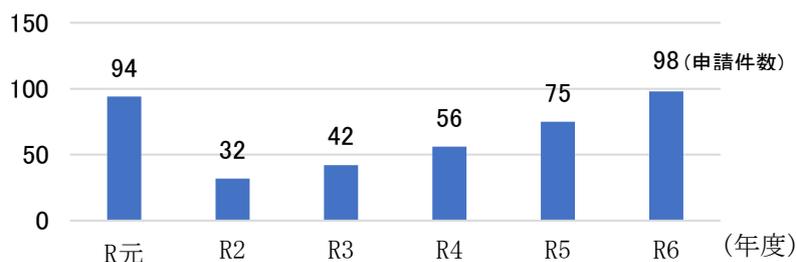
#### ・商店街定期開催事業補助：8 件（R5 年 10 月 31 日現在：6 件）

例：ニコニコバザー、we-cycle、おとなの部活など

#### ・商店街トライアル事業補助：4 件（うち、イベント事業 1 件、活性化事業 2 件、個店連携事業 1 件）

例：さくらみち 90m まつり、商店街マップ事業など

(件) 商店街チャレンジ戦略支援事業(イベント事業)の件数



コロナ禍前の水準まで回復した。

R5 年 10 月 31 日現在：51 件  
R6 年 10 月 31 日現在：98 件

8/7~12 開催

阿佐谷七夕まつり

(阿佐谷商店街振興組合)



10/27 開催

さくらみち 90m まつり

(桜上水商店睦会)



商店街マップ事業

(高円寺あづま通り商店会)

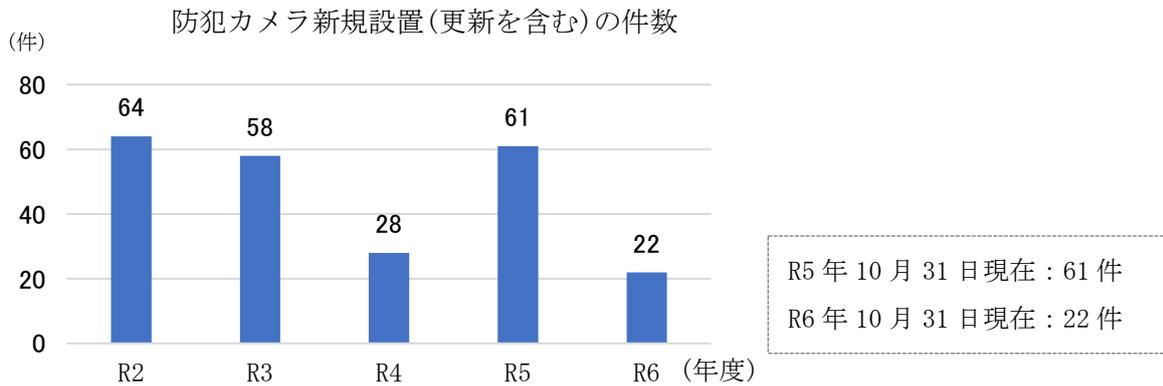


**(取組3) 快適に買い物ができる商店街づくりの推進【重点】**

- 快適に買い物ができる環境づくりを進めるため、商店街の施設整備に要する経費の一部の補助申請があった。
  - ・アーケード改修工事：1件（高円寺パル商店街振興組合）

**(取組4) 安全・安心で環境にやさしい商店街づくりの推進【重点】**

- 安全・安心に買い物ができる商店街環境の整備を図るため、防犯カメラの設置や維持管理等に要する経費の一部を支援した。また、設置に対する補助率を2/3から5/6に拡充（令和8年度までの時限措置）するとともに、電気料の高騰に伴い、商店街が設置する防犯カメラの1台あたりの電気料助成の上限を月額300円から400円に増額した。



- 耐用年数を経過したLED装飾灯のランプ交換に要する経費について、東京都の補助制度を活用し全額補助を実施した。
  - LEDランプの交換：199件（R5年10月31日現在：151件）

**(取組7) 商店街のデジタル化推進策の検討**

- 区内商店街の方々をお招きし、商店街でのキャッシュレス推進等、地域課題の解決に向けて最前線で取り組んでいる商店街関係者のお話を聞くパネルディスカッション「すぎなみ商店街活性化サミット」を令和6年10月30日に開催した（参加者:40名）。



## 取組項目4 観光・アニメに関する取組 杉並の魅力を生かしたにぎわいの創出

### (取組1) 産業団体等との協働・連携による杉並の魅力発信【重点】

○「中央線あるあるプロジェクト」では、プロポーザル方式で選定した事業者の提案により、国内外への情報発信を行っている。日本人に向けた情報発信として、カメラ好きの集まる写真展へのブース出展を行い、中央線4駅周辺の魅力をPRしたほか、現在、「中央線4駅周辺の魅力」をテーマに、フォトコンテスト（8月20日～11月28日）を開催している。外国人に向けた情報発信は、イラストと音をテーマに、インフルエンサーを活用した台湾向けの情報発信の企画を進めている。

このほか、地域と連携した取組として、JR東日本が主催するイベント「駅からハイキング」パンフレット制作の協力や「荻窪音楽祭」のフラッグ制作等の取組を支援した。さらに、近隣からの来街を促進するため、武蔵野市と連携し、吉祥寺と西荻窪の周遊を目的としたなぞ解きの要素を加えたスタンプラリー、「なぞまちあるき」を実施している。また、昨年作成した中央線4駅キャッチコピーの普及を図るため、ハッシュタグキャンペーンの実施やノベルティ制作に取り組んだほか、観光案内所やホテルへのパンフレット等の配架を行った。



○東京高円寺阿波おどりは、関係機関と連携しながら大きな事故なく開催することができ、来場者数は本大会前日のふれおどりを含め約98万人となった。

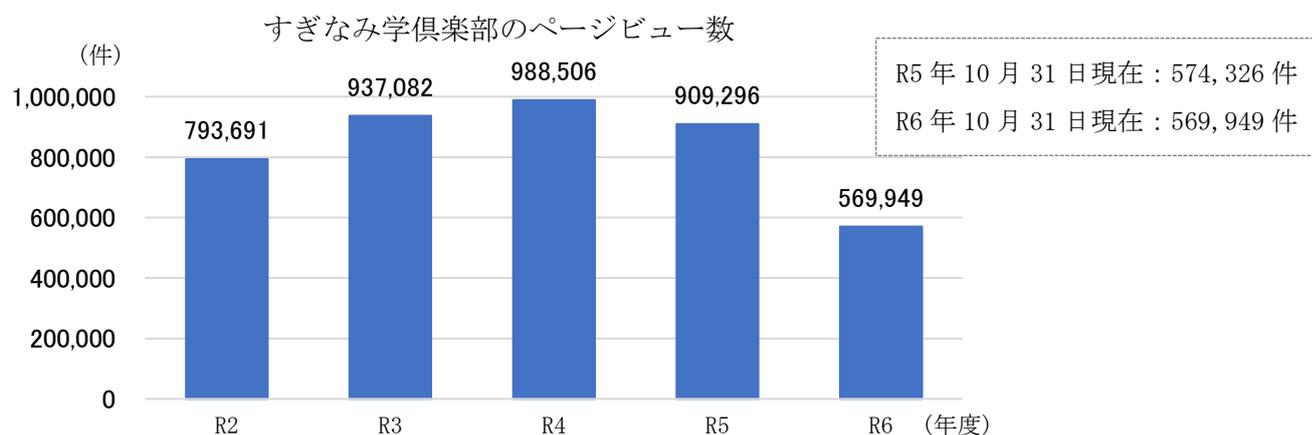
### (取組2) 民間事業者のノウハウを活用した杉並の魅力発信【重点】

○「魅力発信事業」では、西武新宿線及び京王井の頭線沿線含めた区内全域の周遊、来街促進を目的に、プロポーザル方式で選定した事業者から提案のあった区内100スポット以上を立ち寄り地に設定したデジタルスタンプラリーを実施している。今後は区内全域の周遊、にぎわいにつながるよう、さらなる参加者を募るため、事業者の運営するWEBサイト（10月11日、11月15日公開）や雑誌（9月10日、12月10日発行）等でも情報発信を行う。



### (取組3) 区民との協働による杉並の魅力発信【重点】

○「すぎなみ学倶楽部」では、区民ライター（40名）による記事の取材、執筆（長文17件、短文37件、インスタグラム63件）を行った。中でも、交流自治体である「東吾妻町」現地での取材や、11月から本格開通するグリーンスローモビリティに関連した取材、記事制作、サイトへの掲載を行い、区民目線での区の魅力発信に取り組んだ。また、ライターの情報共有・スキルアップの場として区民ライター研修や編集会議を計3回開催した。



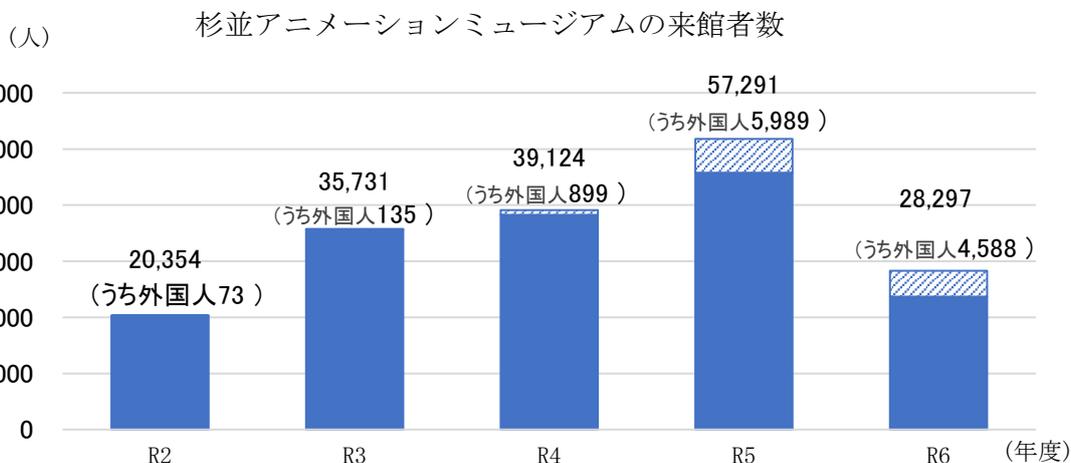
(取組6) 杉並アニメーションミュージアムを活用したにぎわいの創出【重点】

(取組7) 区内アニメ制作会社等との連携の推進【重点】

○杉並アニメーションミュージアムの企画展として「TVアニメ『逃走中グレートミッション展』(4月6日～7月15日)、「人体のサバイバル&深海のサバイバル展」(7月20日～10月19日)を開催した。人体のサバイバル&深海のサバイバルの一日1回のアニメ上映は、夏休み期間中の土日にはほぼ満席になるなど大変好評であった。



○区内アニメ制作会社と連携した取組として、ミニ企画展示コーナーにおいて、「区内アニメ制作会社「BN Pictures」展」(5月2日～9月1日)、「区内アニメ制作会社「MAHO FILM」展」(9月4日～12月15日予定)を実施した。「BN Pictures」展では、「アイカツ」「フラフラダンス」の二作品のスタンディや原画などの展示のほか、ワークショップや夏休み特別上映を実施し、6日間で延べ422名の参加があった。「MAHO FILM」展では、「歴史に残る悪女になるぞ」「青のミブロ」の二作品の展示を行っており、シアターで「歴史に残る悪女になるぞ」一話振り返り上映会&トークショーを実施し、45名の参加があった。



\* 杉並会館の改修工事等に伴う臨時休館日数  
 R2 年度 計 104 日  
 R4 年度 計 169 日  
 R5 年度 計 12 日  
 R6 年度 計 7 日

R5 年 10 月 31 日現在 : 28,712 人(うち外国人 3,610 人)  
 R6 年 10 月 31 日現在 : 28,297 人(うち外国人 4,588 人)

## 取組項目5 都市農業に関する取組 多面的な機能を有する都市農業の保全

### (取組1) 都市農地の保全と適正管理【重点】

○令和6年7月から9月にかけて全生産緑地を対象とした農地利用状況調査（農地パトロール）を実施した。農地の管理状況等を確認した結果、耕作が行き届いていない農地保有者に対して農地の貸借やボランティアの活用を勧奨した（18件）。また、都市農地の保全と適正管理につなげるため、9月から10月にかけて区内の全農家に対し農業経営方針や農地の活用意向等に関する農業経営実態調査を実施し、農業者個々のニーズの把握を行った。

### (取組2) 都市農業の維持・継続の支援【重点】

○農業者の実情を踏まえた営農活動支援補助制度は、予算満額の申請を受けたほか、認定農業者への登録勧奨を行うなど、農業の経営基盤の強化に向けて取り組んだ。

- ・営農活動支援補助 申請：24件 10,000,000円（R5年10月31日現在：26件 7,544,000円）
- ・認定農業者登録勧奨 更新：2名、新規：2名（累計19経営体26名）

### (取組3) 地産地消の推進

○即売会を区役所本庁や荻窪駅北口のほか、新たにタウンセブンで販売ブースを設けるなど、計129回実施した。

○給食に区内産農産物を活用する「地元野菜デー」について、令和6年7月に「じゃがいも」を使用して全区立学校にて実施した。12月は「大根」での全区立学校実施を予定している。

○東京都エコ農産物の認証取得農業者を紹介するリーフレットを発行し、普及・啓発に努めるとともに、環境フェアと連携し、東京都エコ農産物を主とした即売会を開催することにより、区民理解の促進を図った。



### (取組6) 農業と福祉の連携【重点】

○農福連携農園（愛称：すぎのこ農園）では、農へのふれあいを通じて障害者・高齢者等のいきがい創出や健康増進などを図ったほか、収穫物の提供により障害者施設や子ども食堂の運営を支援した。

- ・障害者施設等との連携による「すぎのこマルシェ」の定期開催（毎月1回 計7回）
- ・子ども食堂の開催（隔月1回 計3回）
- ・団体農園区画：11団体（障害者施設、保育園等）が利用し、団体施設との意見交換会を実施（令和6年9月）
- ・教育委員会と連携し、新たに不登校支援事業の場として活用（令和6年6月、10月）

### (取組7) 区民が農業にふれあう場の提供

○区内全7区民農園の利用期間が令和7年2月15日に満期となるため、新たに3年間の利用者を募集する一斉更新に向け、広報すぎなみや区公式ホームページ、ポスター掲示等による周知の準備を行った。募集期間：令和6年12月1日（土）から12月16日（月）【消印有効】

### (取組8) ボランティア等の活用支援

○東京都援農ボランティア養成講座「青空塾」を実施した。  
参加者：10名（令和6年6月～10月 計12回）

○区内農家の要望に合わせ、農業ボランティア18名をマッチングした。

○杉並区農業ボランティアバンク登録者を対象に、JAと連携し、新たにフォローアップ研修を実施（令和6年9月、10月）した。

